

# まつど議会だより

発行/松戸市議会  
編集/広報委員会  
千葉県松戸市根本387-5  
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第70代副議長  
いわほりけんし  
岩堀研嗣



第68代議長  
きむらみねこ  
木村みね子

**議長・副議長 就任のご挨拶**

市民の皆さまには、平素より市議会に對しましてご理解とご協力をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。私たち両名は、令和2年12月定例会におきまして議長・副議長に就任いたしました。市政が適切な方向へ進むよう冷静に見極めながら、議会内の合意形成を図る調整役として、その職責を全うしてまいります。

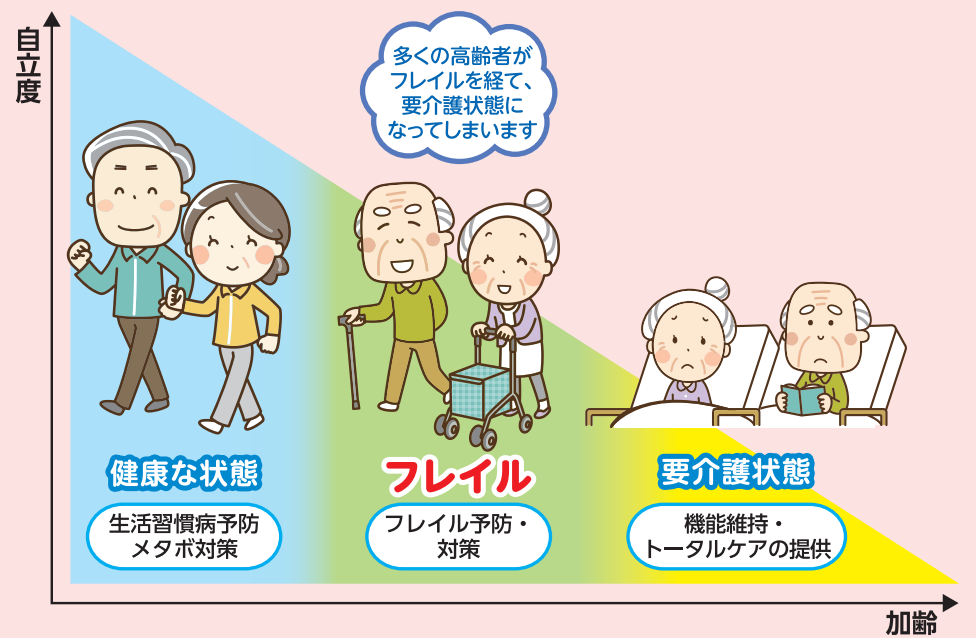
さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、本市にも甚大な影響をもたらしております。感染者数の抑制を図ることを最優先として、市民の皆さまの生活を守るため経済対策にも全力で取り組んでいくとともに、市議会においても感染防止対策に万全を期して、円滑な議会運営に努めてまいります。

二元代表制のもと、市長と議会は車の両輪に例えられます。新拠点整備をはじめとする大型事業などの重要施策が次々と提案される中、私たち市議会議員には、社会情勢を踏まえた的確な判断が求められておると感じております。これからも市民の皆さまの声を真摯に受け止めて、議会としての役割と責任を果たしてまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## いつまでも健康に過ごすための

# フレイル予防

コロナ禍の外出自粛が求められる今だからこそ、フレイル予防が重要です。フレイルとは、健康な状態と介護が必要な状態の間の状態のことです。フレイルになると近い将来に、要介護状態などになりやすいといわれています。



フレイルは改善が期待できるといわれています。バランスの良い**食事、運動**（自宅での体操や人混みを避けての散歩など）、**社会参加**（電話などでの交流）を心がけましょう。

●問い合わせ先 高齢者支援課地域包括ケア推進担当室 TEL 047(366)7343

## 市議会トピックス

### 令和2年度松戸市一般会計補正予算（第9～11回）を可決

補正額	第9回	8,726万3千円
	第10回	8,683万3千円
	第11回	1億6,732万1千円

### 新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

- 11月臨時会・12月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、下記のとおり感染拡大防止策を図りました。
- 本会議では採決時を除き、議員は定足数に配慮し半分ずつ交代で出席し、執行部の出席者数にも配慮をお願いしました。
  - 一般質問は発言時間を通常60分から25分に短縮しました。議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮しました。

### 議会選出監査委員

議会選出監査委員の選任に同意しました。

たか はし のぶ ゆき  
高橋伸之  
おお つか けん じ  
大塚健児

### 人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。  
(敬称略)

●固定資産評価審査委員会委員  
たか つ あき ひろ  
高津明宏

## 12月定例会

令和2年12月定例会を12月4日から21日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された固定資産評価審査委員会委員の選任議案1件に同意しました。このほか市長から提出された補正予算を含む一般議案10件を、それぞれの委員会において審査しました。最終日には、これらの案件のほかにも市長から提出された追加議案1件、監査委員の選任議案2件、議員提出議案8件を上げし、採決しました。また議長および副議長選挙、各委員会委員の選任、各委員長および副委員長の互選を行いました。

(2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)

なお32人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

## 11月臨時会

令和2年11月臨時会を11月26日に開催しました。今臨時会では、市長から提出された2年度補正予算を含む一般議案5件を、それぞれの委員会で審査した後、本会議において採決しました。

(2面に審議結果を掲載)



# 11月臨時会・12月定例会 審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
<b>11月臨時会</b>				
<b>市長提出議案</b>				
第40号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第9回)	総務財務	可決	全会一致
第41号	令和2年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	全会一致
第42号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第43号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第44号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見
<b>12月定例会</b>				
<b>市長提出議案</b>				
第45号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第10回)	総務財務	可決	全会一致
第46号	令和2年度松戸市病院事業会計補正予算(第3回)	健康福祉	可決	全会一致
第47号	松戸市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致
第48号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第49号	松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第50号	契約の締結(松戸市立河原塚中学校校舎増築工事)	教育環境	同意	全会一致
第51号	和解	建設経済	同意	全会一致

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第52号	松戸市基本構想及び松戸市総合計画後期基本計画の変更	総務財務	可決	全会一致
第53号	市道路線の廃止及び認定	建設経済	可決	全会一致
第54号	指定管理者の指定(松戸運動公園ほか8スポーツ施設)	教育環境	同意	多数意見
第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任(高津明宏氏)	—	同意	全会一致
第56号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第11回)	—	可決	全会一致
第57号	監査委員の選任(高橋伸之)	—	同意	全会一致
第58号	監査委員の選任(大塚健児)	—	同意	全会一致
<b>議員提出議案</b>				
第17号	マイナンバー制度の廃止を求める意見書	—	否決	多数意見
第18号	全国学力・学習状況調査を悉皆方式から抽出方式に改めることを求める意見書	—	否決	多数意見
第19号	75歳以上の医療費窓口負担2割への引き上げに反対する意見書	—	否決	多数意見
第20号	最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制の確立を求める意見書	—	否決	多数意見
第21号	国会審議の正常化と真相の徹底究明を求める意見書	—	否決	多数意見
第22号	住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書	—	可決	全会一致
第23号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	—	可決	全会一致
第24号	犯罪被害者等支援の充実を求める意見書	—	可決	全会一致

## 特定所管事務調査の委員長報告

政策立案や監視機能という議会本来の責任を発揮するために、各常任委員会では、閉会中における所管事務の特定調査事項としてテーマを設け、調査・研究を行っています。今定例会では、その結果を各常任委員会の委員長から報告しましたので、内容(要点)をお知らせします。なお意見集約された教育環境常任委員会の案件については議長から市長へ政策提言として提出しました。

**健康福祉常任委員会**  
高年齢分野における福祉人材の体制強化について

本常任委員会では「高年齢分野における福祉人材の体制強化」を特定所管事務調査事項とし、調査研究を行った。まず本市の取り組みや国の動向について執行部から聞き取りを行い、現状把握を行った。次に愛知県春日井市等の先進市へ行政視察を行い、有益な示唆を得た。特に春日井市のハートフルパーキング事業は地域住民の助け合いの気持ちに根差した好事例で、本市でも参考とすべきとの意見が多くあった。さらに現場の課題把握のため、事業

種別の福祉現場を訪問し話を伺った。こうした調査研究を続け意見交換を行う中で、課題と対応策を委員間で共有した。まず前提として、高齢者を支えるのは専門職だけでなく、家族や地域等が一体となって担うべきとの意見があり、高齢者を支え合う体制づくり等が必要との提案があった。また介護職からの流出を防ぐための再就職先あっせんや処遇改善としての家賃補助、さらに提出書類の簡素化・介護記録の電子化等による負担軽減や小中学生等若い世代に対する介護の魅力発信などの取り組みが重要であるとの意見・提案があった。以上、報告とする。

**総務財務常任委員会**  
在宅勤務(テレワーク)について

本常任委員会では、在宅勤務(テレワーク)を閉会中の特定所管事務調査事項として調査研究を始めた。テレワークは、ワークライフバランスや、多様な働き方により能力を発揮できる環境の実現等にも寄与し、またコロナ禍対策として国も推進しているが地方自治体の導入状況は低調である。そこで本市の取り組み状況等について執行部から説明を受け、本市では緊急事態宣言の発出後、緊急的に在宅勤務(テレワーク)が活用されたが、本格導入に

は新たなシステム構築が必要とのことであった。また適正な労務管理や情報セキュリティ等の確保といった課題も見えた。各委員から自宅環境が仕事の効率に影響を与え、また在宅勤務に伴う費用負担への対応等、環境整備や制度の確立が必要である。庁内の調整には横断的に指揮する部署が必要では。等の意見があった。この度はコロナ禍で議論が進まず意見集約に至らないが、テレワークは働き方改革の推進やコロナ禍対策として、また市民福祉の向上を図るべく市民が選択できる取り組み等、国等の動向を注視し調査研究に努めるよう要望し、報告とする。

**建設経済常任委員会**  
景観形成の促進について

本常任委員会では「景観形成の促進」をテーマとして今後のまちづくりにおいて地域性、周辺との関係性等に配慮した景観形成を推進するため、行政がどのような取り組みをすべきか調査研究を進めてきた。まず先進事例の視察を通して、住民等が主体的に関わる仕組みづくりとともに、市が先導的に取り組むことで相乗的に景観形成が図られると確認した。次に執行部に本市の実情について説明を求めた。アドバイザー制度など専門家が景観形成に関わ

る体制や景観表彰など市民が景観づくりへ参加する機会がある等の強みがある一方で、個々の景観要素のつながりに乏しい、公共空間が活かしきれないといった課題を共有した。その後、コロナ禍で調査研究を深めることが困難となったため、委員からの意見を付して報告とする。委員からは、回遊性向上等のため、公共サインのガイドラインを作成し運用するべき。公共施設整備の指針はバリアフリーに特化するのではなく、景観形成の視点を持つべき。といった、公共の責務として行政がより主体的かつ先導的に景観形成を促進すべきとの意見があった。

**教育環境常任委員会**  
学校教育に関するICTの活用について

本常任委員会では「学校教育に関するICTの活用について」を調査研究してきた。その過程で、本市の整備状況と活用状況を把握するため教育委員会に説明を求め、ICT研究指定校へ視察を行った。本市の状況を踏まえ先進事例の取り組み等を学び、委員間の情報共有を図った。改めて本市の現状を見るとGIGAスクール構想の前倒しによりICT環境の整備が進んでいるが、学びの充実や活用するための教職員へのサポート体制の構築が、課題

となることが見えてきた。これからの時代を担う子どもたちにとって、ICTを活用することは、学習意欲が高まり、主体的対話的で深い学びの実現につながることで、子どもの能力や特性に応じた個別学習も可能となることから、学校教育においてICTを効果的に活用することは重要である。そのためには、教職員の負担軽減に配慮しながら、ICT活用の促進、指導力向上のため実効的な策を講じる必要があることから、ICT支援員を適切に配置すること、また市教育委員会が主導できるよう組織的な体制を整えるよう政策提言する。







# 一般質問

12月定例会では、12月7日・8日・9日・10日の4日間  
にわたり、32人の議員が市政に関する一般質問を行いました。  
その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会議長選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

## 一般質問の発言時間短縮について

今定例会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、  
一般質問の発言時間を通常60分から25分に短縮することを議会運営  
委員会で決定しました。

## 介護予防ケアプラン について

政策実現フォーラム  
成島 良太

運動器機能向上加算を利用している介護予防サービス計画を立てる際、目標期間を6カ月とすることを一切認めていないのか伺う。

答 介護予防サービス計画の目標期間を6カ月とすることを

認めないという解釈ではなく、サービス計画と運動器機能向上計画の整合が図れたものを作成している。利用者の抱えている課題等さまざまなことから、介護支援専門員とサービス事業者が連携し、目標や期間を設定することが望ましいと考え、自立支援、重度化防止の介護保険の理念にのっとり、個々の状態に合わせた適切な給付により、今後も介護サービスの質を担保することが重要と考えている。

## 市長の人権施策に対する 想いについて

公明党  
松尾 尚

「松戸市パートナーシップ宣誓制度」が令和2年11月1日に導入されたが、改めて市長の人権施策に対する想いを伺う。

答 多様な性の在り方と生き方を理解し、受け入れ、寄り添うことが重要であるため「松戸

市パートナーシップ宣誓制度」を導入した。市民の人権を守るためには人権啓発と人権救済の2つの施策により人権尊重社会の実現に向けた総合的かつ有機的な展開が必要である。引き続き、自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解し、その権利行使に伴う責任を自覚して、人権を相互に尊重し合う「人権共存の考え方」を理解していただけるよう人権施策を推進していくべきと考える。

## 市役所本庁舎の移転建て替えに係る公式記録について

市民力・立憲民主党  
山中 啓之

市役所本庁舎の移転建て替えについて、市民と議論してから位置付けたと思われる形跡が確認できなかった。検討過程において、移転建て替えを検討した形跡が認められる公文書名を伺う。

答 市役所機能の再編整備に係る公表・報告の経緯については、松戸市立地適正化計画、新拠点ゾーン整備基本構想、松戸市公共施設再編整備基本計画の策定過程において、パブリックコメント等を通じ、市民の方の意見を取り入れ進めている。市役所機能の再編整備については、現在、市の基本的な考え方を取りまとめ、今後準備が整い次第、速やかに公表し、市民からの意見を聞いていきたい。

## マイナンバーカードの 休日交付について

公明党  
篠田 哲弥

マイナンバーカードの普及率アップと市民サービス向上のため、カードの休日交付の拡大と松戸駅構内の行政サービスセンターでの休日交付を実施する考えについて伺う。

答 行政サービスセンターは

施設が狭いため、個人情報に配慮した交付場所の確保や、マイナンバーカードの交付に対応できる職員の配置などが必要となる。そのため、まずは本庁舎での休日交付を充実させ、令和3年2月より月3回に拡大する。さらに3月から毎週土日のいずれかに、休日交付が行えるよう体制整備を進めている。併せて、平日の時間外の交付についても週1回程度行えるよう検討していく。

## 成年後見制度利用促進 について

公明党  
諸角 由美

後見人が必要とする人は増加傾向にある一方で、担い手が少なく大変な状況であると認識している。担い手の負担軽減等に向け、体制の強化と支援が早急に必要と考えるが、本市の見解を伺う。

答 担い手不足や受任の強化は課題であると認識しており、対策の一つとして、担い手の負担軽減となる後見人支援機能の促進が必要と考えている。後見人個人に過剰な責任を負わせるのではなく、チームでバックアップし、孤立させない地域連携ネットワークを作り上げることが持続可能な担い手の体制整備につながるかと考えている。また市民後見人の養成・活用も有効な方策であると考えている。

## 放課後児童クラブの運用 改善について

市民力・立憲民主党  
中西 香澄

放課後児童クラブについて①施設に必要な整備計画の作成②改修工事における公平性の担保③緊急事態時の運営要綱を定めるべきではないか伺う。

答 放課後児童クラブについて①今後の整備の実施にあたり、

施設の確保方策や場所の決定等について整備方針や計画を策定し、計画的な施設整備や修繕を実施するため、現在各施設の状況を確認している。また設置基準は、現状を確認後に精査し作成する予定である。②賃貸借契約の締結前後に改修工事を実施する場合は、保育課が実施している手法を参考に検討する。③緊急事態における職員配置は、条例の解釈を明確化するため要綱に定める予定である。

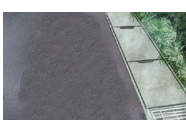
## 道路整備について

日本共産党  
ミール 計恵

小金原四丁目のたいわんふう通りにつながる住宅地内の道路の側溝には、ふたのない箇所があり危険性が高いが、改善の必要性や今後の見通しを伺う。

答 市内には、ふたのない側溝の路線が多数あり、整備要望

が寄せられているため優先順位を付け順次、整備を進めている。なお未就学児が集団で移動する経路や小学校の通学路、また道路幅が狭く歩行者の安全性に懸念がある路線等を優先的に整備しており、小金原四丁目の当該箇所も優先度の高い路線と認識している。よって、優先度の高い他路線とともに早期に整備が着手できるように努めていく。



## パートナーシップ宣誓制度に 係る都市間連携について

市民力・立憲民主党  
岡本 優子

パートナーシップ宣誓制度に係る都市間連携に関する協定を締結する等、他自治体間の相互利用について見解を伺う。

答 パートナーシップ宣誓制度に係る都市間連携については、同様の制度のある自治体に転出

した際、宣誓者の負担軽減を目的に、導入した自治体間で協議を経て協定が締結され導入されている。連携にあたり、各自治体における宣誓要件の違いや住民の転出入の状況等を考慮し、連携方法について、綿密な意見交換が必要であると認識している。まずは、パートナーシップ宣誓制度の導入による新たな問題点等を整理・検証した上で、連携の可能性について、調査・研究を進めていきたい。



### 松戸市の 新婚さん支援について

公明党  
鈴木 智明

問 結婚に伴う家賃や引越費用等を支援する自治体へ、国が支援額の一部を補助する結婚新生活支援事業がある。定住化や人口流出抑制に有効であり、本市でもこの事業を実施し、住宅費等の補助支援を行う必要が

あると考えるが見解を伺う。  
答 結婚新生活支援事業は、結婚を後押しする有効な取り組みであるとともに、本市への定住化促進のきっかけになると考える。これに加え令和3年度に予定されている要件緩和により、補助対象者が増加し、補助額が増額することを受け、本市でも前向きに導入に向け検討していく。



### 産婦健康診査の 費用助成について

公明党  
岩瀬 麻理

問 産後の母体の把握やうつ防止等かねて産婦健康診査が行われている。その費用を助成し母親の負担を少しでも軽くすることは重要であると考え。近隣市では産婦健康診査の費用を助成しているが、本市でも費

用助成を行う考えはあるか。  
答 産婦健康診査は産後うつやその傾向にある産婦の早期発見・早期対応を可能とし、産後の初期段階における母子支援体制を強化する上で重要であると考えており、令和2年度施行の「第2期松戸市子ども総合計画」にも位置付けたところである。現在、市内医療機関の現状把握を行っており、今後も効果的な実施方法の検討を重ね、事業化に向けて取り組んでいく。

### 障がい児保育について

公明党  
高橋 伸之

問 医療的ケア児のいる家庭を支援するため、共働き世帯への対応として、保育所での受け入れ体制を充実すべきと考え。が、現状と今後の方向性を伺う。

答 令和2年度は、両親がフルタイム就労で医療的ケア児を持つ家庭において、民間保育園での受け入れを調整している。また3年度からは、医療的ケア児を対象とした民間保育園での一時預かり事業の実施に向け、課題を整理している。併せて重度の子どもを持つ家庭の就労のニーズにも対応できるよう、専門スタッフ等の体制を整っている児童発達支援事業所に対する支援の拡充等を含め検討し、関係課と協議していく。



### 包括的相談支援体制の 構築について

公明党  
織原 正幸

問 地域共生社会を実現するため、包括的相談支援体制の強化について考えを伺う。

こやかセンターは、中央、常盤平、小金の3圏域に設置済みである。しかし障害分野は中核機関の基幹相談支援センターが1カ所のため、圏域ごとの連携がとりづらく、今後3カ所に増設・整備する。またひきこもり支援の専門的機能を拡大し、ひきこもり状態の本人への介入から社会復帰まで一貫した伴走型支援が可能となる等、障害、母子、高齢者の福祉3分野における包括的支援体制が整備される。

### 市立東松戸病院について

松政クラブ  
鷹野 聡

問 令和2年9月定例会の一般質問においても、市立東松戸病院の在り方について、質問をしたが、「今しばらくお時間を頂戴したい」との答弁であった。その後3カ月間でどのような検討をし、どのような結論に至っ

たのか伺う。  
答 9月定例会以降、関係部署と協議の場を設け、市立東松戸病院の経営改善に係る行動計画について、元年度までの達成状況の検証および病院の機能と役割、病院が直面する課題等を整理し、具体の改善策等について、議論を深めてきた。現在、市として示す福祉医療センター東松戸病院の在り方の方角性の最終的な調整を図っている。

### 停電時の人工呼吸器等の 非常用電源について

公明党  
城所 正美

問 災害等での停電に備え、人工呼吸器の在宅利用者へ非常用電源の購入費を補助できないか伺う。

度の高い問題と認識し、購入費の補助制度について調査研究を進めている。この補助制度は全国的に導入する自治体が増えているが、補助の対象や補助金額の上限等その内容は自治体により相違がある。人工呼吸器等の利用者が災害時でも日常生活を支援なく営むことができるよう、本市に最もふさわしい補助制度の導入に向け検討していく。



### 東京2020オリンピック ・パラリンピックについて

松政クラブ  
大塚 健児

問 令和2年9月、聖火リレーの実施概要が発表されたが、聖火リレーに向けた準備について伺う。

答 オリピック聖火リレーについては、本市は千葉県の最終日である3年7月3日の最終

区間の実施となり、松戸中央公園でセレブレーションが開催される予定である。またパラリンピック聖火リレーについては、千葉県では8月18日に聖火フェスティバルが開催される。本市で灯された「松戸の火」をパラリンピック聖火に届けることができるよう、同日に松戸中央公園で採火式を開催する予定であり、松戸市少年少女発明クラブの子ども達による火おこしを実施する形で調整を進めていく。

### 喫煙環境について

松政クラブ  
田居 照康

問 たばこの喫煙ルールについては、2018年7月に健康増進法の一部を改正する法律が成立し、2020年4月より全面施行されている。そこで過去の答弁において、喫煙所の設置場所が見つからないとのことだ

つたが、その後の進捗状況について伺う。  
答 喫煙所の設置場所については、現在、東松戸駅に指定喫煙場所を設置している。重点推進地区では受動喫煙等の弊害がなく、ある程度のスペースが確保できる適地を駅から比較的近くに見つけることは非常に困難ではあるが、指導監視員が路上喫煙およびポイ捨てのパトロールと併せて駅周辺の状況を調査している。

### 市債残高の 上限値の目安について

松政クラブ  
鈴木 大介

問 財政状況指標の全国平均と比較した本市の財政状況と市債残高の上限値の目安についてどのように考えるか伺う。

答 令和元年度における本市の財政力指数は0.900であり全国約800ある市の中でも

上位15%程度の水準となる。さらに経常収支比率は94.2%であり全国平均と同程度となる。また上限値として目安を示した平成8年度の市債残高はあくまでも一つの考え方である。なお財政負担の程度を示す令和元年度の将来負担比率はマイナスのため、本市の債務水準は健全であり、投資を行う財政的な体力は備わっていると認識している。今後も市債残高に注意し、適時・適切に投資していきたい。



就学援助について

政策実現フォーラム

増田 薫

問 コロナ禍において予想される就学援助制度への影響を、現状と対応を含め伺う。またクラブ活動費や卒業アルバム代を補助対象とする考えはあるか。

答 コロナ禍による経済的な影響は大きく、就学援助制度の

希望が増加する可能性は認識している。就学援助の申請書には理由を明記しないため、新型コロナウイルス感染症の影響を把握することは難しい状況であるが、前年度の所得だけで判断することなく、現在の経済状況を考慮して柔軟に対応している。またクラブ活動費や卒業アルバム代については、児童生徒、各学校や家庭の状況の確認が難しいと考えている。今後も他市の動向を踏まえ検討していく。

公園整備や維持管理に Park-PIF 等の活用を

松政クラブ

杉山 由祥

問 ポストコロナ時代を見据えた公園整備や維持管理に、Park-PIF 等、民間事業者と連携した手法が有効と考えるが、導入の計画について伺う。

答 民間事業者の資金やノウハウにより、カフェ等の施設整

備と園路等の公園整備を一体的に行う Park-PIF 制度は、老朽化した施設の更新とサービステイプルの向上がともに図られることから、行政のみならず利用者にもメリットが大きい。本制度は公園整備に有効な手段と考え、令和3年度は活用に向け民間事業者への市場調査を計画している。地域の状況やニーズ、ライフスタイルの変化に対応した魅力的な公園整備にスピード感を持ち取り組んでいく。

保育所の負担軽減について

公明党

飯箸 公明

問 平成30年度に導入された公立保育所における ICT 化の成果は。また今後の課題と保護者との連絡機能やシフト管理などの導入スケジュールは。

答 保育システムの登降所管理機能の利用により登降時刻の

記録や集計が自動化され、二重作業や人為的ミスが無くなった。また令和2年10月から保育システムとアプリを連動させた保護者へのお知らせ配信をスタートし、保育の様子やプリント類の配信等の他、緊急時にも活用できる一斉連絡の手段を構築できた。今後の課題としては、朝の欠席連絡の受付やシフト作成などについて、3年度の運用開始を目標にシステム化を行い、業務の効率化につなげていきたい。

シトラスリボン 運動について

政策実現フォーラム

関根 ジロー

問 コロナ禍における人権意識の向上に向け「人権尊重緊急宣言」に加え、シトラスリボン運動を導入する考えはあるか。

答 シトラスリボン運動は、この半年余りの期間でその活動が全国に広がりを見せており、

有意義であると認識している。本市の取り組みとして、感染者やその家族、医療・介護関係者等やその家族に対する差別や偏見に同調せず、冷静に行動するように呼びかけている。今後も引き続き普及啓発を進め、コロナ禍における人権問題の解消に向け、努力したいと考えている。またシトラスリボン運動については、今後の動向に注視していきたい。



分散備蓄倉庫の 早期整備について

政策実現フォーラム

戸張 友子

問 「松戸市避難所開設・運営マニュアル」において、災害時の避難拠点とされている市内小中学校における分散備蓄倉庫を設置する計画の進捗状況について伺う。

答 分散備蓄倉庫の設置は、

避難所として指定している市内66校の小中学校を対象に、平成元年度から順次、整備を進めており、すでに44校の設置が完了している。なお設置が完了していない学校においては、余裕教室や未使用のスペースを活用することで対応している。また令和2年度は、2校に分散備蓄倉庫を設置する予定であり、今後も引き続き、関係部署と連携を図りながら、全校への早期設置に努めていく。

資金管理について

松政クラブ

大谷 茂範

問 コロナ禍において、一般会計と特別会計の出納を一括管理している会計管理者の預金口座が、残高不足にならないための資金管理上の対応策を伺う。

答 令和2年度は、特にコロナ関連の事業費の影響により、

先行きの収支状況の予測が困難となっており、通常、歳計現金の残高に余剰がある場合、一定期間の資金運用を実施しているが、現状では例年に比べ、少額の運用となっている。なお資金管理上、仮に残高不足が予測される場合の措置として、まず財政当局と協議の上、財政調整基金の一部預金留保や預金解約を、次に、一時借入金活用等を講じる。今後も、適正な資金管理に努めていく。

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者への検査体制は

政策実現フォーラム

DELLI

問 令和2年11月27日頃から松戸保健所では濃厚接触者が発生した市内幼稚園に対し、濃厚接触者全員の PCR 検査は行わないという対応をしているようだ。こうした12月上旬にかけて発生している、検査が必要な人

へ速やかに検査が実施できていない実態を把握しているか。  
答 松戸保健所管内では感染者が急増し、濃厚接触者の調査や、その後の検査の調整も非常に厳しい状況と聞き及んでいる。しかしながら濃厚接触者への検査が適切なタイミングで行われない状況は、感染拡大の危険性や本人の不安感も大きくなるため、市ではすぐに千葉県へ検査体制について申し入れをし、その後体制は改善されている。

コロナ禍の 学校教育について

日本共産党

平田 きよみ

問 市内小中学校再開後、新たに不登校となった児童生徒数と主な要因は。また新型コロナウイルス感染症への不安等から登校を希望しない児童生徒数は令和2年10月末現在小学校112

答 不登校の児童生徒数は令

人、中学校332人である。理由として、小学校では学校に足が向かないなど登校渋りの傾向があり、中学校では集団不適応や登校意欲低下の傾向が見られる。また感染症への不安を理由に欠席している児童生徒数は11月が小学校17人、中学校9人である。本市はさまざまなストレスを抱えた児童生徒への対応は重要と認識しており、引き続き心の安定を目指し、各学校においてきめ細やかに対応していく。

東京外かく 環状道路について

市民クラブ

深山 能一

問 東京外かく環状道路への進入車両により、一部時間帯によつては渋滞が発生しているが、渋滞解消のため車両を分散させる考えはあるか。また渋滞が発生している小山交差点において、時差式信号機の導入を検討する

考えはあるか伺う。

答 外環道路へ進入する車両の分散や時差式信号機の導入については、周辺道路で一部時間帯に発生する渋滞の緩和にもつながることが考えられる。本市における交通利便性のさらなる向上を図るべく、地域の利用者の声を聴きながら状況把握に努め、さまざまな機会を捉え、交通管理者である警察や道路管理者である国・県・高速道路会社などと連携していきたい。



### NHK集金人の訪問行為について

松政クラブ

中村 典子

問 NHK集金人による夜間や早朝の訪問等、悪質な行為について、ふさわしくない訪問時間の根拠や本市の相談体制等を伺う。また夜間や早朝の訪問行為を制限する考えはあるか。

答 社会通念上、訪問行為の

ふさわしくない時間帯は国の通達である「特定商取引に関する法律等の施行について」を根拠とする。また市民から受け付けた消費生活に関する相談は消費生活センターにおいて対応し、さらに消費者教室やパンフレットの配布等を通して啓発している。なお市として事業者に対する訪問時間を制限する制度を創設する考えはないが、今後も消費者相談への確に助言し安全で安心な市民生活の実現に努めたい。

### 高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくりについて

市民クラブ

岩堀 研嗣

問 民有地へのベンチ等ひと休みできる場の活用に対してガイドラインを示し、ベンチ等設置を積極的に促し、地域ぐるみで高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちを創造していく必要があると考えるが、市の見解は。

答 ベンチ等ひと休みできる場の設置について、令和元年度、小金原地区の歩道へ設置する事業を進めていたが、歩道の有効幅員の確保等、法的規制を満たす場所への設置には至らなかった。本事業は、地域から再検討の意向もあることから、制約がない民有地の活用も視野に入れた新たなベンチ設置を模索していきたい。他自治体の好事例を参考に引き続き関係部署と横断的に連携を図り進めていきたい。

### 中小企業支援と地域産業の振興について

松政クラブ

大橋 博

問 地方創生社会のさらなる推進には、中小企業支援による地域産業の振興が大切と考えるが、コロナ禍における中小企業の現状分析と今後の展望を伺う。

答 事業者を取り巻く環境が急激かつ複合的に変化しており、中小企業等への公的支援が必要と認識している。これまで本市独自の支援策として、国・県による無利子・無保証料制度への上乗せ補助、従業員の雇用を維持する事業者を支援する小規模事業者等事業継続給付金等の金融支援や、事業者向け総合相談等の支援を実施してきた。今後も新型コロナウイルス感染症の経済への影響や、国・県の動向を注視しながら、必要な支援施策を検討していく。

### 市内医療従事者へのPCR検査の必要性について

日本共産党

山口 正子

問 令和2年11月臨時会において、高齢者や有患者、保育や教育そして介護サービス従事者等へのPCR検査費用の補助が承認されたが、医療従事者は補助の対象となっていない。新型コロナウイルス感染症拡大防

止のためにも、医療従事者へのPCR検査が必要と考えるが、本市の見解を伺う。  
答 感染拡大防止、院内感染対策を図る観点から医療従事者へのPCR検査の有用性は認識している。市内医療機関では検査が必要と認められる職員に対し、各病院の判断によりPCR検査等を行っている。感染者が増えていることから、早急に医師会および医療機関等の意見や要望を確認し、協議していく。

### 新松戸地区のまちづくりについて

政策実現フォーラム

原 裕二

問 常磐線快速列車新松戸駅停車の費用負担と経済波及効果は。また新松戸駅東側地区土地区画整理事業と一連との説明だったが、快速停車の実現は、同時期ではなく後になると思うが、市の見解を伺う。

答 費用負担は、他市の事例等を参考に調査している。経済波及効果としては、本市の交流拠点の一翼を担っているJR新松戸駅に快速停車が実現した場合に、上野東京ラインを利用した交通便利性がさらに高まり、新松戸地域および周辺地域の活性化や魅力が飛躍的に向上するものと考えられる。また時期は、現段階で明確に答えられないが、千葉県や常磐線沿線自治体と連携しJR東日本に要望している。

### 放課後児童クラブ支援員等の処遇改善について

日本共産党

宇津野 史行

問 求人サイトでは放課後児童クラブの正規支援員の平均年収が全国で336万円、千葉県で358万円とされているが、本市では放課後児童クラブに係る委託料において支援員の年収をどのように積算しているか。

また本市は支援員等の処遇改善に向けた国の補助金をこれまで活用していないが、補助金活用に関する認識を伺う。  
答 委託料の積算における支援員の年収は主任支援員の給与として約300万円である。また国の補助金である放課後児童支援員等処遇改善等事業や放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業については、処遇改善に向けて活用していきたいと考えている。

## ちょっと一息 定例会の流れ

松戸市議会では、定例会が年4回（3月、6月、9月、12月）開催され、予算や条例などの議案の審議や一般質問を行います。会議には、全議員で構成され、議場で議案等の審議や一般質問を行う本会議と議案等を専門的、能率的に審査する委員会があり、定例会ではおおよそ下記の流れで議案の審議等を行います。





### 3月定例会の開催予定

令和3年松戸市議会3月定例会は、2月22日（月）から3月23日（火）まで、いずれも午前10時より開催する予定です。  
 請願・陳情は、2月10日（水）正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月22日(月)	招集日・本会議（施政方針・議案提案理由説明）
24日(水)	各常任委員会（先議議案審査）
3月1日(月)	本会議（先議議案採決）
2日(火)	〃（一般質問）
3日(水)	〃（一般質問）
4日(木)	〃（一般質問・議案質疑）
5日(金)	総務財務常任委員会
8日(月)	健康福祉常任委員会
9日(火)	教育環境常任委員会
11日(木)	建設経済常任委員会
12日(金)	予算審査特別委員会
15日(月)	〃
17日(水)	〃
19日(金)	〃
23日(火)	本会議（議案等の採決）

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合があります。ありますので、ホームページ等でご確認ください。

### 議会傍聴について

定例会の傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課  
 TEL 047 (366) 7381

### 一意見書3件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書
- 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
- 犯罪被害者等支援の充実を求める意見書

### 会派別一覧

会派構成に変更がありました。松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

松政クラブ 12人
◎ 石井 勇※ ○ 大谷 茂範 ○ 鷹野 聡子 中 村 典児 大 塚 健博 大 橋 大介 鈴 木 由祥 杉 山 みね子 木 村 秀三 桜 井 照康 田 居 照民 小 沢 暁

公明党 10人
◎ 城所 正美 ○ 諸角 由美 篠 田 哲弥 鈴 木 智明 松 尾 尚理 岩 瀬 麻伸 高 橋 英一 伊 東 公明 飯 箸 幸正 織 原 正

市民クラブ 7人
◎ 末松 裕人 ○ 市川 恵一 ○ 渋谷 剛士 岩 堀 研作 山 口 栄一 深 山 能孝 中 川 英

日本共産党 4人
◎ 宇津野 史行 ○ 平 田 きよみ ミール 計 恵子 山 口 正

立憲民主党 ※ 4人
◎ 二階堂 剛※ ○ 関 根 ジロー※ 成 島 良太※ 戸 張 友子※

無所属
箕 輪 信 矢

議員定数 44人

(令和2年12月22日現在)

### 声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により、「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。市内在住の障害者手帳（視覚障害）をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

●問い合わせ先  
 松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)  
 TEL 047 (383) 7111  
 住所 松戸市五香西3-7-1



朗読を録音する様子

次回発行予定は5月1日(土)です

### 議会だよりの編集を担当しています 広報委員会

- 委員長 鈴木 智明※  
 副委員長 中野 香澄※  
 委員 中野 香澄※  
 委員 戸張 友子※  
 委員 D E L I ※  
 委員 篠田 哲弥※  
 委員 大塚 健博※  
 委員 山本 正子※  
 委員 鈴木 智明※  
 委員 織原 正幸※  
 委員 渋谷 剛一※  
 委員 市川 恵一※

※新たな委員長・副委員長、変更があった委員



### 編集の窓

三寒四温の候、まだまだ寒い日が続き、体調管理が難しいものですが、暦の上では「立春」を迎え、春が始まります。

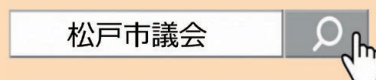
市民の皆さまからは「議会ではどのような議論しているの?」「議員はどのような活動をしているの?」と聞かれることがあります。その際には、丁寧にわかりやすく説明をしております。

市議会が発行しております「議会だより」の紙面上では、定例会の全てをお伝えすることは残念ながらできませんが、議会としても、工夫をしながら「伝える」努力を重ねております。また広報委員会では、各議員の賛否公開に向け協議を行っております。

今後、先進地の考察なども行いながら、議員相互の意見交換を図り、開かれた議会を目指したいと考えております。どうぞご期待ください。

本年もよろしくお願いたします。

### 松戸市議会の情報をホームページで公開しています



本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。



議会中継

### マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。